

令和2年度 農業委員会総会

議 事 録

日 時 : 令和2年6月2日 午後1時30分～

場 所 : 坂出市役所 2階大会議室

署名委員

井 上 賀 博

河 合 茂 夫

坂出市農業委員会

出席農業委員 16名

1番 木下 得代
2番 大原 眞路 (会長職務代理)
3番 三木 洋一
4番 川田 一博
5番 吉田 宏明
6番 山下 恭生
7番 松下 良夫
8番 井上 賀博
10番 村井 孝彦
11番 中村 康男 (会長)
12番 藤本 俊彦
13番 宮本 賢一
14番 猪熊 幸雄
16番 穴吹 秀雄
17番 梶野 和幸
18番 大西 和男

出席農地利用最適化推進委員 17名

1番 平田 忠司
2番 茶本 恭弘
3番 谷口 正行
4番 井上 雅史
6番 中西 格
7番 細川 昇
8番 西久保 晋
9番 猪熊 寿一
10番 三野 善七
11番 河合 茂夫
13番 三木 幸作
14番 濱崎 郷廣
15番 大久保 久雄
16番 三野 久米吉
17番 古家 育雄
18番 大西 正修
19番 川井 隆夫

欠席農業委員 2名

9番 岡野 孝文 (委任状あり)
15番 國重 幸代 (委任状あり)

欠席農地利用最適化推進委員 2名

5番 細谷 秀樹 (委任状あり)
12番 佐藤 隆信

事務局出席者

事務局長 細川 英樹
事務局長補佐 竹村 秀基
事務局次長 黒木 弘美
書記 飯尾 祐美

【細川事務局長】

みなさんこんにちは、定刻がまいりましたので、ただいまより令和2年度坂出市農業委員会通常総会を開会致します。

開会に当たりまして、中村会長よりご挨拶を申し上げます。

【中村会長】

令和2年度 坂出市農業委員会 通常総会の開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、大変お忙しい中、綾市長様のご臨席を賜り、総会が開催されますこと、厚くお礼申し上げます。

また、本日お集まりの委員の皆様方におかれましても、定例会でのご審議だけでなく、それぞれの地域の農業者の代表者として、活躍して頂いておりますことに対しまして、心より感謝申し上げる次第でございます。

さて、現在の日本の農業を取り巻く状況は、新型コロナウイルスの世界的な蔓延による国民生活の不安定化に関連して、農産物価格の低迷や世界的な食糧生産・流通の不透明化による不安に襲われています。今後、国内における食料自給率の向上は喫緊の課題であり、他国に過度に依存しない農業政策への方針転換は急務となっています。

また、国内においては農業従事者の高齢化、後継者の不足による減少により農地面積が減少し、農業生産基盤の脆弱化が進行しています。

農業委員会は、従来から地域に根ざした家族経営とその延長線にある法人経営、集落営農を中心に、新規就農者と参入企業など多様な農業経営を育成・確保し、それらが共存、切磋琢磨して農業振興を図るべく活動を重ねてまいりました。

今般の農地中間管理事業の5年後見直しで、農業委員会は農地所有者の意向把握と地域の話し合い活動に積極的に取り組むことを明確化・重点化されたことを踏まえ、従来以上に地域農業の牽引役としての自覚をもって活動を強化していかなければなりません。

こうした情勢のもと、本市農業委員会においては、農業委員会業務の重点として法定化された「農地利用最適化業務」の推進をはじめ、従前よりの農地法の許認可業務、担い手の確保・育成、遊休農地の把握と利用意向調査、農業者年金の周知と加入促進、農業者との意見交換会、坂出市農業経営者協議会への支援など、各種事業に鋭意取り組んでまいりました。

その取り組みに際しましては、市農政部局をはじめ、香川県農業会議、香川県農地機構、中讃農業改良普及センターなど、関係機関各位から格段のご指導・ご協力を賜りましたことに感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

【細川事務局長】

ありがとうございました。

続きまして、ご来賓のよりご祝辞を頂戴したいと存じます。

坂出市長 綾宏様 よろしくお願ひいたします。

【綾市長】

(内容省略)

【細川事務局長】

ありがとうございました。

なお、公務のため綾市長様におかれましては、ここで退席をさせていただきます。

続きまして、例年でしたら坂出市議会議長、坂出市議会市民建設委員長、香川県農業会議、事務局長の皆様よりご祝辞を頂いていたところですが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止対策といたしまして規模を縮小いたしております関係上、ご理解の程賜りたいと存じます。

本日の委員の出席状況でございますが、委員総数37名の内33名の出席をいただいております。従いまして、坂出市農業委員会総会会議規程5条によりまして、本日の総会が成立していることを、ご報告致します。

また、岡野孝文委員、國重幸代委員、細谷秀樹推進委員からは欠席届と委任状の提出を頂いております事を併せてご報告致します。

次に、議長の選出でございますが、総会会議規程第6条によりまして、「総会の議長は会長が行う」と規定されておりますので、中村会長よろしくお願い致します。

【中村会長】

それでは、私の方で議事の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。まず、本日の議事録署名委員及び書記を選任させていただきます。議事録署名委員に、井上賀博委員さんと河合茂夫推進委員さんの2名を選任させていただきます。

なお、書記につきましては黒木次長にお願いします。

それでは、ただいまから、審議に移らせていただきます。

まず、第1号議案「令和元年度事業報告」を議題に供します。

令和元年度事業報告につきましては、先ほどのご挨拶で申し上げました内容と重複いたしますので、お目通しをお願いいたします。

次に、令和元年度の主要業務について事務局より報告をいたします。

【竹村事務局長補佐】

それでは、事務局より「令和元年度主要業務」につきまして、ご報告をさせていただきます。

資料の3ページから5ページをご覧ください。平成31年4月から令和2年3月までの活動状況でございます。

時間の関係もございますので、主な業務のみを申し上げます。

定例行事としましては、毎月7日開催の定例農家相談を合計12回、毎月20日開催の定例会を12回開催しております。

それから、6月6日に通常総会を開催いたしました。10月には遊休農地解消の為の全体会議を開催し、各地区毎に遊休農地の現地確認を実施しました。

また11月に香川県農業会議主催の農業委員・推進委員研修会に参加しました。

その他、県内8市9町で構成する「市町農業委員会会長会」、8市で構成する「八市農業委員会会長協議会」、中讃地区3市5町で構成する「中讃地区農業委員会連合会」「中讃農業改良普及協議会」などを通じまして、各市町・関係機関・団体と連携を取りながら、農業委員会業務の円滑な推進に努めてきたところであります。

そのほかの業務につきましては、お目通しを頂きたいと存じます。

以上で、令和元年度「主要業務」の説明とさせていただきます

【中村会長】

続きまして、農地関係部門についての事業報告を、大原会長職務代理より報告願います。

【大原会長職務代理】

それでは、第1号議案 令和元年度事業報告のうち農地関係部門の報告をさせていただきます。

資料の6ページをお開きください

毎月開催の定例会は毎月20日を定例日と定め、午前9時より開催しております。毎回、大半の方々にご出席を頂き、農地法等の許認可案件について審査を行いました。

審査にあたっては、申請の必要性・確実性・緊急性を精査するとともに他法令にも留意しながら審査しました。

また無断転用案件など事前に現地確認が必要と思われるものは、定例会前日に会長職務代理および現地調査委員3名で現地調査を実施し、必要に応じて指導も行いました。

令和元年度における許認可案件については、下段の表にありますとおり、3条関係からその他の案件まで、通算で516件について審査を行いました。

前年度と比較して、全体で66件、約14haの減少となっております。

農地法第4条と5条の農地転用は、合計で19件の減少、面積は33,715㎡の減少。

利用権設定は、58件、119,675㎡の減少となっております。

元年度の内訳は、資料の10ページから13ページに掲載しておりますので、ご覧ください。また年度ごとの比較表は、資料の33ページから38ページに掲載しておりますので、ご覧ください。

次に、農地無断転用防止事業について

農地の無断転用は、税務課からの情報提供や農家相談等により発見する場合が大半であります。

無断転用は、違法行為である旨を周知するとともに、適正な農地転用申請を提出することを指導してまいりました。

また、「農業委員会だより」でも、農地法の違法行為であることを啓発し、防止に努めています。

資料の8ページをご覧ください。

定例農家相談は、毎月7日を定例農家相談日と定め、農業委員1名・推進委員1名の輪番制で出席を頂き、午前9時から11時まで農家の相談を受け付けました。

相談実績は、8ページの表にあるとおりです。

また、遊休農地の相談に対しては、農地所有者に通知書を送付し、農地の適正管理を指導してまいりました。

次に、農地機構への農地の集積状況ですが、

農地集積専門員と地元農業委員・推進委員、JA職員、産業課職員と連携して、遊休農地の解消と新規就農者への支援を図りました。

農地法第3条の3に基づく相続等の届出・農地所有適格法人に対する勧告・和解の仲介については、9ページにあるとおりです。

以上で、令和元年度 農地関係部門の事業報告を終わります。

【中村会長】

続きまして、農政関係部門についての事業報告を、大原会長職務代理より報告願います。

【大原会長職務代理】

それでは、第1号議案令和元年度事業報告のうち農政関係部門の報告をさせていただきます。資料の14ページをお開きください。

農政関係部門の審議事項につきましては、毎月開催される定例会の中で第8号議案以

降として上程し、農業経営改善計画認定申請、農業振興地域整備計画変更事前協議、新規就農計画認定申請等について審議を行いました。

さらには、全国農業新聞の推進、農業者年金の加入促進、女性農業委員の研修会等も実施しました。

農政関係部門での審議実績は、14 ページの表にあるとおりです。

次に、農業者との意見交換会の開催について

坂出市農業経営者協議会の会員と、坂出市長・中讃農業改良普及センター所長・坂出市農業委員会役員による意見交換会を、令和2年2月4日に開催し、活発な意見が交わされました。

農業委員会だよりの発刊について

農業委員会の各種業務についての理解と協力を得るため「委員会だより」を編集してまいりました。

毎年12月に農業委員会の活動内容等を掲載し、市内全農家に配布しております。第33号「農業委員会だより」の主な掲載内容は、15 ページのとおりです。

次に、16 ページをご覧ください。

農地利用集積事業について

農業の中核的担い手である農地所有適格法人と認定農業者を確保・育成するため、農用地利用集積計画を始めとする利用権の集積等を通じて、農地の有効利用、保有合理化の促進、地域農業の振興、農業構造の確立に努めました。

農地利用集積の実績は16 ページの表のとおりです。

目標の70 haには至りませんでした。順調な実績を上げております。

市単独農地流動化助成金交付事業について

認定農業者が、新規に6年以上の賃貸借の設定をした場合に助成金を交付するもので、元年度は、2つの経営体に33,200円を助成しました。

認定農業者等担い手の育成及び確保について

地域の担い手となる農業経営者の確保・育成及び新規就農者の支援をする為、関係機関と連携し、元年度においては、新たに認定農業者6経営体を認定しました。

農業者年金業務について

農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図るため、制度の広報活動を実施し、現況届の取りまとめなどの業務に努めました。

次に、18 ページをご覧ください。

経営改善支援活動事業について

認定農業者等、意欲と能力のある農業経営者で組織する『坂出市農業経営者協議会』に対し、関係機関の指導と協力を得て、先進地の視察研修・簿記記帳講習会・確定申告相談会などを開催し、知識の向上や会員相互の連携・意識の高揚に努めました。

会議の実施状況は表にあるとおりです。

農地利用状況調査・農地利用意向調査について

市内全域を対象に、農地の利用状況を調査しました。また遊休農地の利用意向調査も併せて実施しました。

遊休農地所有者等に対して、利用意向調査を行なったことで、農地利用集積が進み、

遊休農地解消に一定の成果があったものと認識しております。

約 3.3ha の遊休農地が解消されたものの、一方で新規の遊休農地も発見され、合計面積ではほぼ横ばいの状況にあります。

調査結果は 39 ページに掲載しておりますのでご覧下さい。

以上で令和元年度 事業報告を終わります。

【中村会長】

ただいま第 1 号議案につきまして報告がありました。この件につきましてご意見、ご質問等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

< 異議なしの声あり >

【中村会長】

別段、ご意見もないようですので、第 1 号議案「令和元年度事業報告」については、原案どおり承認してよろしいでしょうか。承認をいただける方は、拍手をお願いします。

< 拍手あり >

【中村会長】

ありがとうございます。それでは、第 1 号議案「令和元年度事業報告」については、原案どおり承認することといたします。

続きまして、第 2 号議案「令和 2 年度事業計画（案）」を議題に供します。

第 2 号議案、令和 2 年度 事業計画（案）について、

農業従事者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加などから本市農業を守り発展させるため、下記事項を重点事項として、香川県農業会議・香川県農地機構・中讃農業改良普及センター・JA 香川県・坂出市などの関係機関・団体と緊密な連携を図りながら、鋭意取り組んでいくものとする。

また、農業委員会法改正に伴う本市農業委員会の、農地利用最適化推進委員を含めた新しい体制を確立・活性化し、農地利用の最適化等に向けた取り組みを進めていく。

1. 農地等の利用の最適化の推進
2. 農地の利用状況調査と土地利用意向調査
3. 担い手への農地集積、権利関係の調整、優良農地の確保
4. 認定農業者の育成と農業経営者協議会への支援
5. 農業者年金の加入促進・強化
6. 農業経営者に対する情報提供
7. 要望活動の取り組み・就農者の意見集約

なお、重点項目につきましては事務局より、また、農地関係部門・農政関係部門の事業計画(案)につきましては、会長職務代理より報告を申し上げます。

では、主要業務と令和 2 年度予算について、事務局の説明を求めます。

【竹村事務局長補佐】

それでは事務局より、令和 2 年度事業計画（案）の内、重点事項についてご説明させていただきます。

資料の 21 ページをお開きください。

農業委員会は、農業委員会等に関する法律に基づき、市町村に設置される行政委員と

して、農地法その他の法律により、その権限に属された事務及び農地等の利用の最適化、その他農地等の効率的な利用の促進に関する事務等を実施しています。

このうち、法令事務については、農業委員会の判断で事務処理がなされていることから、公平性・透明性が強く求められております。このことから、活動計画の策定、議事録の公表等、『農業委員会の見える化』により取り組むものとします。

その第1点目は、議事録の縦覧・公表

個人情報保護条例等に十分留意の上、農業委員会窓口およびインターネットでの公表。

2点目は、総会及び定例会の開催日の周知

「農業委員会だより」及び農業委員会窓口等の掲示をする。

3点目は、活動計画等及び点検・評価・公表

当該年度の活動に対する点検・評価、及び次年度の目標とその達成に向けた活動計画の検討であります。

農業委員の取組としては、① 活動の記録と報告、② 年間活動目標の設定と結果の報告、③ 定例農家相談の実施に取り組んでまいります。

22 ページをご覧ください。

令和2年度においても、昨年と同様、利用状況調査と利用意向調査を実施し、担い手農家への利用集積を促すことにより、遊休農地の解消を図ってまいります。

遊休農地の解消目標面積は11haとし、委員1人当たり、3,000㎡以上を目標とします。

次に、23 ページをご覧ください。

令和2年度 農業委員会歳出予算について、説明をさせていただきます。

農業委員会予算 総額 5,275万2千円

うち農業委員報酬 1,491万円

報償費 15万4千円

旅費 71万2千円

交際費 7万円

需用費 78万6千円

使用料及び賃借料 79万7千円

負担金補助及び交付金 140万4千円

などであります。

以上で事務局からの説明を終わります。

【中村会長】

続きまして、農地関係部門につきましての事業計画を、大原会長職務代理に説明をお願いします。

【大原会長職務代理】

資料の24ページをお開きください。

農地は、国民の基本的な食料の安定供給のための生産基盤であるばかりでなく、水源のかん養・洪水調整・大気の浄化・風致景観など、極めて多くの機能を有するかけがえない資源です。

農地関係部門においては、多面的機能を有する農地を守るため、農地法を遵守し、農地法等の許認可業務を始めとする諸問題について、農家の立場を考慮しつつ関係法令に照らし、公平かつ迅速な処理を行います。

また業務の遂行に当たっては、透明性・公平性に留意し、『農業委員会活動の見える

化』に努めるものとします。

農地法等許認可業務について、

定例会は、毎月 20 日(休日の場合はその前日)を定例日と定め午前 9 時に開催する。

- 農地法第 3 条申請については、農地の下限面積や通作距離、経営状況等、農地の取得要件を十分調査し、農地が効率的・有効的に利用できるのか否かを審議する。
- 農地法第 4 条・5 条申請については、特に転用申請の必要性、確実性、緊急性の 3 要素を満たしているか否か、土地改良区の同意や被害防除計画書の添付があるか否か、また、隣接農地関係者の同意の必要性などを十分調査するとともに、農業振興地域の整備に関する法律や都市計画法、建築基準法などの関係法令にも留意し、公平かつ公正な審議をする。
- 非農地証明願については、農地法施行前より非農地であるか、自然災害により農地としての復旧が著しく困難であるか、やむを得ない事情により 20 年以上にわたり耕作が放棄され農地としての復旧が著しく困難であるか等について、農業委員の現地調査を行い判断します。

無断転用防止事業について、

無断転用は、毎年 1 h a 程度確認していますが、大部分が住宅用地等であり、過去において既に完了しているものが多く見受けられます。

優良農地を守る為、農業委員による無断転用防止パトロールを行うとともに「農業委員会だより」や市広報紙を通じた啓発活動を併せて実施するなど、無断転用防止に鋭意取り組んでまいります。

定例農家相談について、

毎月 7 日(休日の場合はその翌日)を定例農家相談日とし、輪番制により実施する。相談内容は、相談ノートに記録し保存するものとする。

農地法第 3 条の 2 (農地及び採草放牧地を適正に利用していない者への勧告) 農地法第 3 条の 3 (相続等で農地を取得した場合の届出) また、農地法第 25 条 1 項に基づく和解の仲介等に鋭意取り組む。

農地紛争などの和解の仲介については、27 ページのとおりです。

以上で令和 2 年度農地関係部門の事業計画(案)の説明を終わります。

【中村会長】

続きまして、農政関係部門につきまして、大原会長職務代理に説明をお願いします。

【大原会長職務代理】

資料の 28 ページをお開きください

目まぐるしく変化する農業諸情勢の中、本市農業経営基盤強化促進基本構想の実現のため、農業者の意見把握に努め、認定農業者や担い手の確保・育成、農地の利用集積に鋭意取り組むことにより、持続可能な力強い農業の実現に努める。また、農業者が老後に安心して暮らせるよう、農業者年金の加入推進にも努める。

認定農業者等担い手の育成及び確保について

意欲ある農業経営者に認定農業者のメリット等の周知を行うとともに、中讃農業改良普及センター・市産業課・JA 香川県等の関係機関との連携を図り、認定農業者等担い手の確保・育成に努める。

認定農業者 3 経営体、うち農地所有適格法人 1 経営体の増加を令和 2 年度の目標とし

ます。

農地集積支援事業について

認定農業者等、担い手への利用集積のため、農地中間管理機構・市産業課・JA香川県と連携を密にし、利用集積の拡大に努める。

集積面積70 haを令和2年度の目標とします。

経営改善支援事業について

坂出市農業経営者協議会は、農業経営の健全な発展、農業経営者の社会的・経営的地位向上に寄与することを目的とし、優良先進地視察研修、簿記記帳講習会、各種研修会の開催や交流会などの参加を通じて、会員相互の連携・研さんに努め、効率的かつ安定的な農業経営の確立をめざします。

令和2年度の活動目標は、29ページのとおりです。

資料の30ページをお開きください

農業者との意見交換会の開催について

平成22年度より実施している認定農業者等の担い手育成を始め、農業者との「意見交換会」を市長・中讃農業改良普及センター・市産業課の出席を賜り開催し、本市農業の振興施策等につき意見交換を行い農業施策等に関する改善意見に反映させる。

意見交換会の時期は、令和2年10月を予定していますが、新型コロナウイルスの状況により、今後予定どおり開催できるか見通すことは難しい状況です。

農業者年金業務について

農業者年金の一層の加入促進を図るため、引き続き関係機関・団体と連携し、農家へのリーフレット配布等の広報活動や担当者の知識向上を目的とした年金業務担当者会を開催するなどの取り組みを行う。

以上で令和2年度 農政関係部門の事業計画（案）の説明を終わります。

【中村会長】

ただいま第2号議案につきまして、大原会長職務代理より報告がございましたが、この件について、ご意見、ご質問等ございましたらご発言をお願いいたします。

< 異議なしの声あり >

【中村会長】

別段、ご意見もないようですので、第2号議案「令和2年度事業計画(案)」について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。ご承認をいただける方は、拍手をお願いします。

< 拍手あり >

【中村会長】

ありがとうございました。第2号議案「令和2年度事業計画(案)」について原案どおり承認することといたします。次に、その他案件として、事務局の方で、何かございますか。

【細川事務局長】

(事務連絡内容省略)

【中村会長】

それでは以上をもちまして、本日の案件は全て終了いたしました。
これで議長を解任させていただきます。
ご協力ありがとうございました。

【細川事務局長】

最後に、閉会に当たりまして中村会長よりご挨拶を申し上げます。

【中村会長】

長時間にわたるご審議お疲れ様でございました。

令和2年度の事業計画(案)が全て承認されましたが、農業委員・推進委員には、農地等利用の最適化の推進を始め、遊休農地の解消や無断転用の防止、さらには担い手農家の育成など、様々な活動が求められております。

令和の時代に対応した責務はますます重く、そして業務は増えると思われま。また新型コロナウイルス感染防止のために生活様式にも変化が求められており、委員会活動にも何かと支障が出るケースも考えられますが、今後も協力して業務を進めて行く必要があります。

本市農業の発展のため、皆様共々、地道かつ活発な取り組みを行うことを確認して、本日の総会を終了とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

【細川事務局長】

それでは以上をもちまして、令和2年度坂出市農業委員会通常総会を閉会いたします。
本日はどうもありがとうございました。

14:15 終了